

伝統校の歴史新たに 古河第一小学校の新しい学び舎が完成



市では、老朽化した学校施設の耐震化および改築事業を順次進め、平成27年度に耐震化率100%を達成しました。学校は子どもたちの学びの場であり、災害発生時には地域住民の避難所となる施設です。このたび、周囲の景観や地域との調和を重視した古河第一小学校の新校舎および屋内運動場が完成しました。

1

古河第一小学校の歴史は古く、明治5(1872)年に創設。これまで使用してきた校舎は昭和44年～48年に順次建設され、築40年以上が経過していました。

平成21年12月、耐力度調査で校舎と屋内運動場が耐力度が不足する危険建物と認定。「景観形成重点地区」にある学校として、歴史や景観に配慮した改築計画を立て、新校舎と屋内運動場の改築が行われました。

■改築工事の歩み

- 平成23年7月～10月 用地測量
- 平成23年12月～24年7月 基本設計
- 平成24年4月～6月 ワークショップ(改築に関する意見交換会)を開催
- 平成24年9月～25年3月 実施設計
- 平成25年9月 校舎建築工事
- 平成27年1月 新校舎完成(2月から新校舎での授業がスタート)
- 平成27年3月 屋内運動場建築工事
- 平成28年3月 新屋内運動場完成

■施設の概要

【校舎】

構造	鉄筋コンクリート造2階建て
建築面積	2,735㎡
延床面積	5,120㎡
総工費	12億3,342万円

【屋内運動場】

構造	鉄筋コンクリート造2階建て 一部鉄骨造
建築面積	1,156㎡
延床面積	1,295㎡
総工費	3億8,124万円



▲シンボルの「赤門」とその周辺の樹木は、景観に配慮しながら保存されました